

病理診断科

a. 体制——当該年度の特徴・スタッフ等

病理医に関しては、前年度と同じく、常勤病理医二人体制を維持できた(いずれも病理専門医)。検査技師、検査員に関しては松島技師が退職したが、兵頭技師が入職し、大きな問題は生じなかったのは幸いであった。令和3年度末で、萩原技師と河野技師の退職が決まったため来年度二人の技師を採用し、新体制で臨むことになった。

スタッフ

病理医

主任部長 弓場吉哲
部長 本庄原

臨床検査技師

仲村 佳世子 (副技師長・細胞検査士・特定化学物質作業主任者・作業環境測定士(第三号、第五号)・衛生工学衛生管理者)
西岡 千恵子 (主任・細胞検査士・二級臨床検査士(病理学)・有機溶剤作業主任者)
萩原 葉子 (細胞検査士・有機溶剤作業主任者) 令和4年3月31退職
河野 孝志 (主任・細胞検査士・特定化学物質作業主任者) 令和4年3月31退職
中川 暉貴 (特定化学物質作業主任者)
知念 優介 (細胞検査士・有機溶剤作業主任者)
松島 滉海 (細胞検査士) 令和3年7月31退職
兵頭 孝史 (特定化学物質作業主任者) 令和3年8月1日入職
中野 優子

検査員

荒川 比佐子

b. 診療実績——臨床統計等

(1) 業務実績

組織診断

総数 8688 件 (迅速 235 件)

所属	3年度	
	件数	迅速 (件数内)
内科系診療科		
呼吸器センター 呼吸器内科	373	0
心臓センター	9	0
消化器センター 消化器内科	2494	0
神経センター 脳神経内科	1	0
腎臓内科	84	0

糖尿病内分泌内科	0	0
血液内科	442	0
リウマチ膠原病内科	4	0
小児科	37	1
神経精神科	0	0
化学療法センター（腫瘍内科）	1	0
緩和ケア科	0	0
初期診療科	2	0
救急部	5	0
外科系診療科		
呼吸器センター 呼吸器外科	186	29
心臓センター 心臓血管外科	57	0
消化器センター 消化器外科	491	41
神経センター 脳神経外科	171	71
泌尿器科	318	11
眼科	11	0
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	370	38
難聴・鼓膜再生センター	0	0
歯科口腔外科	37	0
小児外科	39	1
産婦人科	2295	28
乳腺外科	465	13
整形外科	38	2
皮膚科	464	0
形成外科	296	0
漏斗胸センター	0	0
その他診療科		
麻酔科	0	0
集中治療部	0	0
放射線診断科	0	0
放射線治療センター（腫瘍放射線科）	0	0
感染症科	0	0
健診部	0	0
診断依頼（標本持参）	(149)	(0)

細胞診検査

総数 9893 件

所属	3 年度
婦人科	5431
呼吸器	1038
消化器	496
泌尿器	1345
乳腺	297
甲状腺	303
体腔液	526
リンパ節	238
その他	219

電子顕微鏡検査

総数 83 件

所属	3 年度
内科（腎生検）	83
心臓センター	0
病理	0

病理解剖

総数 4 体

所属	3 年度
内科	4

内科・病理カンファレンス (CPC)

実施日	剖検番号	臨床診断	主治医	担当医
2021. 9. 6	AN3859	MDS, ヘモクロマトーシス	中根先生	弓場
2021. 9. 10	AN3860	HCC, 肝硬変, 消化管内出血	杉之下先生	弓場
2021. 12. 23	AN3857	末期腎不全, 膵癌	塚本先生	本庄
2022. 1. 27	AN3854	急性肺障害	丸毛先生	弓場
2022. 3. 29	AN3862	血管肉腫	足立先生	弓場

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【論文】

(原著論文)

- 1 Tomomasa R, ..., Yuba Y, ..., Nobusawa S*.
Ependymoma-like tumor with mesenchymal differentiation harboring C11orf95-NCOA1/2 or -RELA fusion: A hitherto unclassified tumor related to ependymoma.
Brain Pathol. 2021 May;31(3):e12943. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Goto K, Fujii H*, Honjo G, ...
GFAP-Negative Subcutaneous Sacrococcygeal Extraspinal Ependymoma.
Case Rep Dermatol. 2021 Jun 14;13(2):293-297. (査読有り)
- 2 Fukutsuka K, ..., Honjo G, Ohno H*.
Burkitt leukemia with precursor B-cell features that developed after ruxolitinib treatment in a patient with hydroxyurea-refractory JAK2V617F-myeloproliferative neoplasm.
J Clin Exp Hematop. 2021 Jun 5;61(2):114-119. (査読有り)

【研究】

- 1 膝液細胞診の精度向上のための検討
(仲村佳世子、萩原葉子、弓場吉哲)
- 2 悪性中皮腫診断のための酵素抗体法パネルの検討
(弓場吉哲)
- 3 EUS-FNAにおける細胞診と組織診との整合性について
(弓場吉哲)
- 4 婦人科細胞診における LBC と従来法の比較検討
(西岡千恵子、仲村佳世子、弓場吉哲)

d. クリニカルインディケータの項目

剖検実施患者数 (2021年4月から2022年3月) 4体